



2026年2月6日

各 位

会 社 名 ユニ・チャーム株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 高原 豪久
(コード: 8113 東証プライム)
問合せ先 専務執行役員 経理財務本部長 島田 弘達
(TEL 03-3451-5111)

2025年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2025年8月5日に公表いたしました2025年12月期(2025年1月1日～2025年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正

2025年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年1月1日～2025年12月31日)

	売 上 高	コア営業利益	税 引 前 当 期 利 益	親会社の所有者 に帰属する 当 期 利 益	基本的1株当 たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 974,000	百万円 120,000	百万円 127,000	百万円 85,100	円 錢 48.68
今回修正予想 (B)	945,268	108,884	105,386	65,212	37.30
増 減 額 (B - A)	△28,732	△11,116	△21,614	△19,888	—
増 減 率 (%)	△2.9	△9.3	△17.0	△23.4	—
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	988,981	138,463	134,537	81,842	46.41

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。「基本的1株当たり当期利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

2. 修正の理由

今回の業績予想の修正におきましては、売上高及びコア営業利益につきまして、北米や中東など一部の地域では想定を上回る好調な推移が見られましたが、中国及びインドネシアの苦戦を補うには至らず、全体として下方修正となりました。

要因のひとつは、中国のフェミニンケア事業です。2025年3月に発生した風評被害の影響から一時回復の兆しが見られたものの、同年10月に新たな風評被害が発生し、その影響が想定より長引いたことで、売上・利益ともに予想を下回る結果となりました。ふたつ目の要因は、厳しい事業環境が継続するインドネシアにおいて、ディストリビューターの変更に起因して出荷を調整したことなどが影響しました。

また、税引前当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益につきましては、アジア地域における資産の減損損失約60億円の計上や、インドにおけるGST（物品・サービス税）の改正に伴う一過性の費用計上が主因となり、前回予想を大幅に下回る見通しです。具体的には、現地子会社が過去から資産に計上していた支払済のGST残高について、法改正の影響により、将来受け取るGSTとの相殺や還付が一部困難となる見込みとなりました。これに伴い、当該資産の回収可能性を慎重に検討した結果、評価損失として約69億円を「その他の費用」に計上することとしたため、利益面において前回予想と差異が生じました。

[業績予想に関する留意事項]

上記業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって数値予想と異なる可能性がありますことをご承知ください。

以 上